

やまだんの
山田野

39

独立行政法人

国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

Alzheimer's Association International Conference (AAIC) 2017に参加して

副院長 吉田 光宏

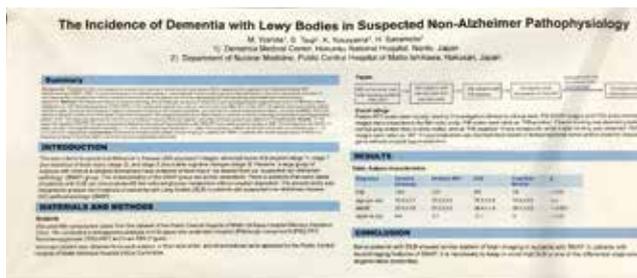
Alzheimer's Association International Conference (AAIC) 2017に参加し、「レビー小体型認知症の画像診断」について当院での臨床研究の成果を発表してきました。発表内容は、今年診断基準が改訂された「レビー小体型認知症」に関連し、英国ニューキャッスルの研究者らと討論でき刺激になりました。米国に留学中にお世話になったFletcher先生やDeCarli教授とも会うことができ有意義でした。

一般的な観光には興味がないため、ロンドンにあるRoyal London Hospital (王立ロンドン病院) とパリにあるHôpital de la Salpêtrière (サルペトリエール病院) を見学してきました (北陸病院 Facebook 参照)。

初めて「An Essay on the Shaking Palsy」でパーキンソン病患者の報告をした外科医James Parkinsonや「エレファントマン」がいたことで有名な王立ロンドン病院に立ち寄りました。当時の施設は、博物館になっていましたが、老朽化が激しく改修工事中でした。

サルペトリエール病院は、現代神経学創始者でパーキンソン病命名者でもあるJean-Martin Charcotやバビンスキー反射で有名なJoseph Babinskiが活躍していた病院です。病院敷地内にカフェがあり、歴史ある建物は、リフォームして使用されていました。建物や広大な敷地の活用も含め、参考になる点が多く、広大な敷地にある北陸病院の新診療棟が待ち遠しいです。ロンドンでは宿泊所に近いパブでビールを飲み、パリでは15年前に行った「Maison Blanche」に予約なしで行ってみました。やはり、日本の寿司が一番美味しいように、何事も本場がよろしいようです。

次年度AAIC 2018は、米国シカゴにおいて7月22日～26日の日程で開催予定です。財務基盤の弱い病院資金をあてにせず、出張旅費を含め外部資金を獲得し、北陸病院勤務の皆さんも国内海外で交流の場を広げましょう。陽当たりがよくなれば、失うものもあるでしょうが、隠れ家的な病院イメージから脱却できる時期も早まるでしょう。



認知症ケア研修を終えて

認知症治療病棟
看護師長 齊藤 富美恵



平成29年9月11日～15日の5日間にわたり、医療機関等に勤務している看護師を対象に、今年度も「認知症ケア研修」を行いました。この研修は、認知症看護の専門的知識・技術の習得と、患者さん及びご家族を支援するための多職種との協働や連携において、中心的役割を果たせる能力養成を目的としております。

富山県厚生部高齢福祉課の方からは、最近の認知症施策の動向について、また認知症を専門とする当院の医師からは、症状や治療について講義していただきました。その他、認知症看護認定看護師による看護の特徴や接し方を、作業療法士、精神保健福祉士などコメディカルからは、リハビリ方法や社会資源の活用などを説明していただきました。さらに、「認知症の人と家族会」の方にお越しいただき、認知症カフェを開催しました。直接ご本人やご家族からお話を聞かせていただき、研修生から「貴重な体験だった」「ご本人とご家族を支える大切さを感じた」など全員が感動し素晴らしい時間となりました。

今回、研修を企画・運営した私たちも多くの学びを得ることができました。今後さらに、研修生1人ひとりの目標達成や実践への応用をサポートし、地域における認知症患者さんやご家族への看護実践力向上につながる研修を企画していきたいと思っております。



ボランティア感謝会を開催しました

地域医療連携室 柴田 剛史

当院の活動はたくさんのボランティアの方々によって支えられています。庭の草刈り、生け花、法話会、踊りの披露、音楽演奏、車椅子介助、法律相談、等々。ボランティアの方々の活動のおかげで、患者さんも職員も大きな活力をいただいております。

そのような中、8月31日にボランティアの皆さんを招いて、ささやかながら感謝会を開催いたしました。9団体、25名の方にご参加いただき、職員も加わり茶話会と感謝状の表彰を行いました。日頃は職員がボランティアの方々とお話しできる時間も限られるので、大変貴重な機会となりました。

ボランティアとは、「自主性」「公益性」「無償性」「先駆性」を柱として行う活動だと言われております。どれをとっても簡単なことではありません。そのような活動を続ける皆さんには心から敬服するとともに、大変感謝しております。

これからもボランティアの方々が集まっていだける北陸病院であるよう、私たち職員も頑張っていきたいと存じております。



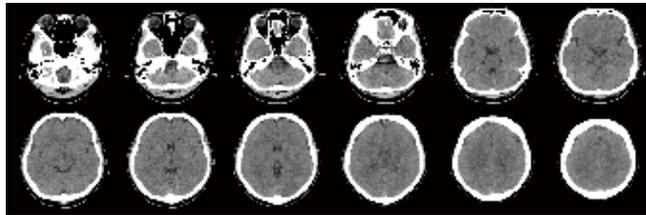
放射線部門

診療放射線技師長 山形 良有

当院では、診療放射線技師2名にて放射線を利用した画像診断検査を行っています。診療放射線技師とは、医師または歯科医師の指示のもとに、放射線を人体に照射（撮影含む）することを業務としている職種のことで、よく「レントゲン技師」と呼ばれたりしますが、正式にはレントゲン技師という名称はありません。検査装置には、診療用X線撮影装置・4列MDCT装置・ポータブルX線撮影装置と放射線を使わない超音波骨密度測定装置があります。



CT装置



頭部の画像

患者様の人権を尊重し、思いやりのある医療の提供と医療水準向上の為、常に研修に励み、医療人としての専門知識、技術の研鑽及び被曝低減に努めています。

患者様の人権を尊重し、思いやりのある医療の提供と医療水準向上の為、常に研修に励み、医療人としての専門知識、技術の研鑽及び被曝低減に努めています。

研究検査科

臨床検査技師長 井上 吉典

貴方やご家族の方が体の不調を訴え病院に行かれた時、採血や検尿をしたことがありますか？ その血液や尿の検体を調べているのが研究検査科です。臨床検査は大きく分けると次の2つに分類されます。①患者さんの血液、尿、痰などを化学的、形態学的に分析する検体検査業務、②心電図、脳波、超音波検査など患者さんに直接接する生理検査業務があります。



生化学自動分析装置に検体をセットしている様子です。

検体検査には次のようなものがあります。

一般検査

尿の成分を化学的、形態的に分析し腎臓、肝臓などの異常、便検査では消化管出血の有無などを調べます。

生化学検査

血液中に含まれる酵素、蛋白、脂質、糖質、などを分析し臓器の異常を把握します。また血液中の薬の濃度を測定し、服用している薬の効果適正量も判断します。

血液検査

血液成分の赤血球、白血球、血小板などを調べ感染、炎症、貧血を見つけます。

免疫血清検査

抗原抗体反応を応用してウイルスや細菌が侵入しているか調べます。

微生物検査

尿、便、喀痰などの検体から肺炎や食中毒などの病気を引き起こす細菌を検出します。

生理検査には次のようなものがあります。

心電図検査

心筋梗塞、不整脈などを調べるため手足と胸に電極を付けて心臓の状態を把握します。

脳波検査

頭皮に電極を付けて電気的信号を記録し、てんかんなどの異常脳波の判定をします。



脳波検査で電極を付けている様子です。

筋電図検査

筋肉や神経に電氣的刺激をして、信号の伝わり方で神経や筋肉の疾患を調べます。

超音波検査

身体に超音波をあて、その反射波によって臓器、血管の状態を調べます。

聴力検査

種類の異なる音を発生させ、どこまで聞えるか測定し難聴の程度を判定します。

呼吸機能検査

肺活量などを測定して肺や気管支の状態を調べます。

終夜睡眠ポリグラフ検査 (PSG)

入眠前に複数のセンサーを装着し、脳波、呼吸、心電図、血中の酸素濃度、いびき音、眼球運動などの生体信号を測定し睡眠の状態を調べます。

研究検査科では病気の診断、治療、予後の経過を知る上で必要な様々な検査を行っています。

採血は痛く辛いことですが大切な検査の一つであること、また何本も採血することがありますが、目的によって採血管が違う事ご理解ください。検査は血液中のわずかな物質を測定しますが、同じものを何回測定しても同じ値になること、その結果が正しい値かどうか求められます。このために精度管理、測定機器のメンテナンス、調整を行いデータの信頼性を保っています。また、新しい知識、技術を身につけるため学会、研修にも積極的に参加しています。

臨床検査技師は病院の医療チームの一員として患者さんがより早く快方に向かわれるよう健康をサポートする役割を担うため、安心して検査を受けていただけるよう、患者さんの立場にたつて対応し、高精度な検査結果を迅速に報告できるよう努力を続けています。

外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	市川・坂本	石橋・市川	白石・石橋	池田・細川	細川・白石
精神科（再診）	石崎・石橋	白石・池田	石橋・坪本	市川・石崎	池田・坪本
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹
内科	渡辺	渡辺	小川（渡辺）	（渡辺）	（渡辺）
心療内科				白石	
睡眠外来（初診）				細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）		重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）		
<p>●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。</p> <p>●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00</p> <p style="text-align: right;">【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950</p>					

看護師・療養介助員・看護助手募集中！

看護師の資格をお持ちの方を随時募集しています。子育てが一段落したからまた働いてみたい方、ゆっくり患者さまと関わる看護をしたい方、大歓迎です。私たちと一緒に働きませんか。話好き・世話好きな方、看護助手として病院で働いてみませんか。仕事は看護業務の補助や患者さまの介護、病棟内の清掃などで、経験や資格は不要です。勤務時間についてはご相談ください。

お気軽に
看護部長室まで
ご連絡ください。



【交通アクセス】

◆交通機関

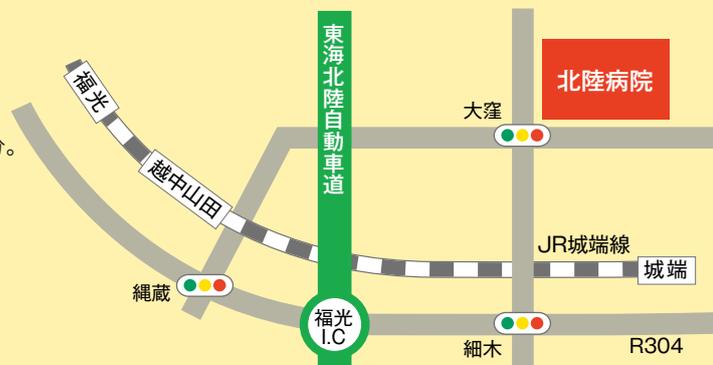
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティーバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・高木・今泉・坂本